

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 25 年 9 月 5 日 (2013.9.5)

【公開番号】特開 2012-236160 (P2012-236160A)

【公開日】平成 24 年 12 月 6 日 (2012.12.6)

【年通号数】公開・登録公報 2012-051

【出願番号】特願 2011-107519 (P2011-107519)

【国際特許分類】

C 0 2 F 11/00 (2006.01)

C 0 2 F 11/14 (2006.01)

【F I】

C 0 2 F 11/00 Z A B F

C 0 2 F 11/14 D

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 7 月 22 日 (2013.7.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本発明は、以下のとおりである。

1) 吸水性繊維素材に静菌剤が含浸され、含水率が 15 ~ 80 質量%であることを特徴とする汚泥処理剤。

2) 前記吸水性繊維素材はセルロース系繊維であることを特徴とする上記 1) の汚泥処理剤。

3) 前記吸水性繊維素材の長さが 1 mm ~ 20 mmであることを特徴とする上記 1) 又は 2) の汚泥処理剤。

4) 前記静菌剤は亜硝酸塩、亜硫酸塩、ソルビン酸塩のいずれかであることを特徴とする上記 1) ~ 3) のいずれか 1 項の汚泥処理剤。

5) 汚泥に、上記 1) ~ 4) のいずれか 1 項の汚泥処理剤を添加し、次いで凝集剤を添加して凝集させた後、脱水処理することを特徴とする汚泥処理方法。

6) 汚泥に、上記 1) ~ 4) のいずれか 1 項の汚泥処理剤と、凝集剤を同時に添加して凝集させた後、脱水処理することを特徴とする汚泥処理方法。

7) 汚泥を貯留する汚泥貯留槽と、

吸水性繊維素材に静菌剤を含浸させた状態の汚泥処理剤を汚泥に注入する注入装置と、
汚泥及び前記汚泥処理剤を混合し、混合物を得る混合装置と、

前記混合物と凝集剤溶液とを混合し、凝集汚泥を調製する凝集装置と、

前記凝集汚泥を脱水し、分離液と、臭気が抑制され含水率が低減された脱水ケーキを得る脱水装置と、

を備え、

前記凝集汚泥を前記脱水装置により固液分離した時、該静菌剤が該分離液側へ移行するのを低減したことを特徴とする汚泥処理装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

吸水性繊維素材に静菌剤が含浸され、含水率が 15 ~ 80 質量%であることを特徴とする汚泥処理剤。

【請求項 2】

前記吸水性繊維素材はセルロース系繊維であることを特徴とする請求項 1 の汚泥処理剤。

【請求項 3】

前記吸水性繊維素材の長さが 1 mm ~ 20 mmであることを特徴とする請求項 1 又は 2 の汚泥処理剤。

【請求項 4】

前記静菌剤は亜硝酸塩、亜硫酸塩、ソルビン酸塩のいずれかであることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項の汚泥処理剤。

【請求項 5】

汚泥に、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項の汚泥処理剤を添加し、次いで凝集剤を添加して凝集させた後、脱水処理することを特徴とする汚泥処理方法。

【請求項 6】

汚泥に、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項の汚泥処理剤と、凝集剤を同時に添加して凝集させた後、脱水処理することを特徴とする汚泥処理方法。

【請求項 7】

汚泥を貯留する汚泥貯留槽と、
吸水性繊維素材に静菌剤を含浸させた状態の汚泥処理剤を汚泥に注入する注入装置と、
汚泥及び前記汚泥処理剤を混合し、混合物を得る混合装置と、
前記混合物と凝集剤溶液とを混合し、凝集汚泥を調製する凝集装置と、
前記凝集汚泥を脱水し、分離液と、臭気が抑制され含水率が低減された脱水ケーキを得る脱水装置と、
を備え、
前記凝集汚泥を前記脱水装置により固液分離した時、該静菌剤が該分離液側へ移行するのを低減したことを特徴とする汚泥処理装置。